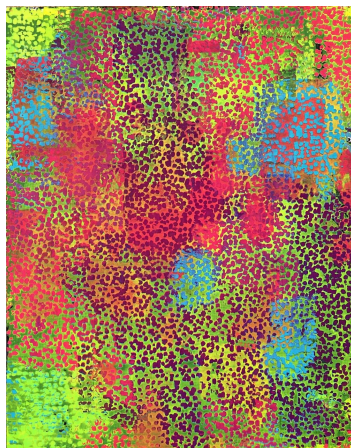


eitoeiko より江川純太展「Overdose」のお知らせです

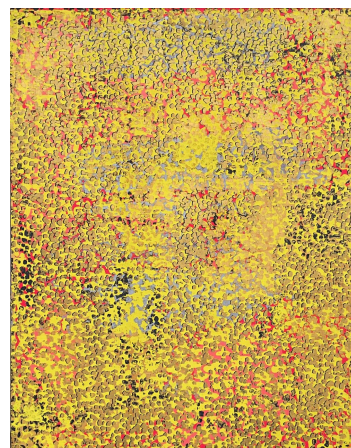
eitoeiko では2017年10月21日（土）から11月18日（土）まで、江川純太展「Overdose」を開催いたします。油彩による抽象的な画面を構築し、絵画を物質の移動の痕跡と捉え、描画材の再解釈や身体的なアプローチを試みてきた江川純太。長らく制作と実験の場となっていた横須賀のアトリエを退去し、新しいアトリエを始動して初めての個展となる本展では、これまでの油彩に加え、より平板で人工的なアクリル絵具を活用し、みずから製版したシルクスクリーンにて描画した作品を発表いたします。絵具を医薬品に見立て、塗り重ねることで大量に摂取した画面にあらわれるのは「快復」か「破綻」か。この試みが本展の軸となっています。原版には作家の所持する医療機関の診察券の番号が貼付され、作家は限られた空間から脱出を試みるように、あるいは積み木が崩れ落ちるまで積み重ねるように作品と向きあっています。画材や技法が変化しても、時間とともに記録されていく行為や痕跡が江川作品の根幹であることには変わりません。本展では50号サイズの大型作品を4点に、十数点の小品をあわせて展示いたします。皆様のご高覧をお待ちしております。



1

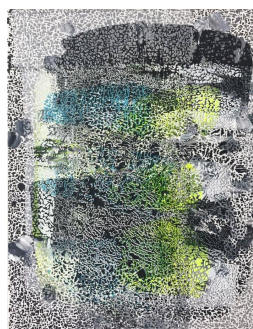


2



3

- 1) 49932_1 キャンバスに油彩 116.7x91cm 2017
- 2) 49932_2 キャンバスに油彩 116.7x91cm 2017
- 3) 49932_3 キャンバスに油彩 116.7x91cm 2017
- 4) 22347_2 キャンバスにアクリル 41x32cm 2017
- 5) 22347_3 キャンバスにアクリル 41x32cm 2017



4



5

江川純太 えがわ・じゅんた

1978 神奈川県生まれ

2003 多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業

個展

正解の裏の裏 2015／全ては奥歯で砕かれる 2014／選択が迫る。後ろはみえない。僕は掴んだ手を眺める。 2013／さっき見た新しい世界を忘れて、また見る瞬間の 2012／正解も不正解も消えた。それが答えなのか？ 2011 以上 eitoeiko

あなたは見ている。僕は何処か遠くのことを考えていた。 TWS 本郷 2013

グループ展

From Now On!! 藤沢市アートスペース FAS 2015／アーツ・チャレンジ 愛知芸術文化センター

2015／アーティスト・ラボ「つくられるの実験」 川口市アートギャラリー・アトリア 2014／Liketch

The Rainbow JAUS ロサンゼルス 2013／VOCA 展 上野の森美術館 2013

主な受賞

トーキョーワンダーウォール賞 2012／第 25 回ホルベインスカラシップ 2012

シェル美術賞入選 2008

作家名 江川純太

展覧会タイトル Overdose

会期 2017 年 10 月 21 日（土）～11 月 18 日（土）

オープニングパーティー 10 月 21 日（土） 18 時から 21 時

関連イベント

電力音楽演奏会 2017「秋電会」～秋深き時、尺八の音と共に、寂寥と熱狂のひとつき～

10 月 28 日（土）開演 14 時 30 分／開場 15 時

料金 2,000 円

出演者 池田拓実：コンピュータ、その他

木下正道：ジャンクエレクトロニクス

多井智紀：改造電気機器

特別ゲスト 田嶋謙一：尺八

会場 eitoeiko

住所 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

電話 03-6873-3830

開廊 12 時から 19 時

休廊日 日月祝

ウェブサイト eitoeiko.com

お問い合わせ ei@eitoeiko.com 担当 癸生川（きぶかわ）